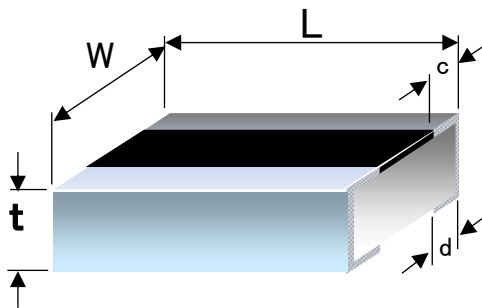


Model No.
WSPCR**

■特徴

- ・長辺電極構造により、**高電力対応が可能です。**
（同サイズ品と比較し、1.0倍～2.5倍の電力アップが可能）
- ・高電力対応が可能なため、**使用部品数の削減、部品占有率の削減**ができます。
- ・長辺電極構造により、**はんだ接合に対して高信頼性**を有しております。
- ・長辺電極構造により、**発熱抑制効果**があります。
- ・100mΩ～1MΩまでの**広い抵抗値範囲をカバー**しております。
- ・**欧州RoHS対応品**です。

■外形寸法



(単位:mm)					
形名	L	W	t	c	d
WSPCR32	3.20±0.15	1.60±0.15	0.55±0.10	0.25±0.20	0.50±0.20

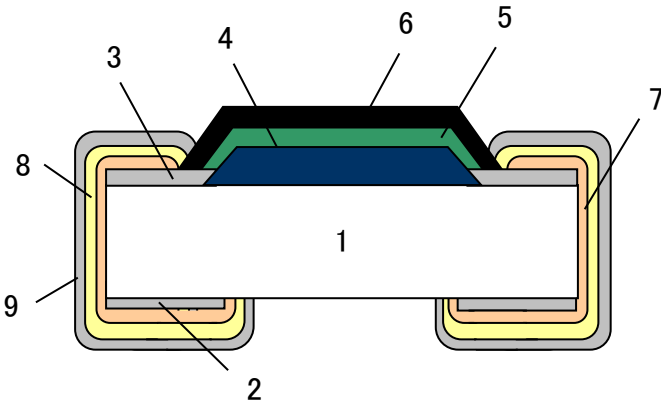
■仕様

形名	定格電力(W)	定格端子温度	抵抗値許容差	抵抗値範圍(Ω)	TCR(ppm/℃)	最高使用電圧	最高過負荷電圧
WSPCR32	1.25	110℃	F(±1%)	10～9.1	±200	200V	400V
			J(±5%)	100～9.1k	±100		
	1.50	95℃		10k～1M	±200		
				1～1M	±200		

※太枠部分は共通になります
※使用温度範囲:-55～+155℃

【構造】

No.	構成部名称
1	セラミック基板
2	裏面電極
3	表面電極
4	抵抗体
5	保護コートⅠ
6	保護コートⅡ
7	側面電極
8	Niメッキ
9	Snメッキ



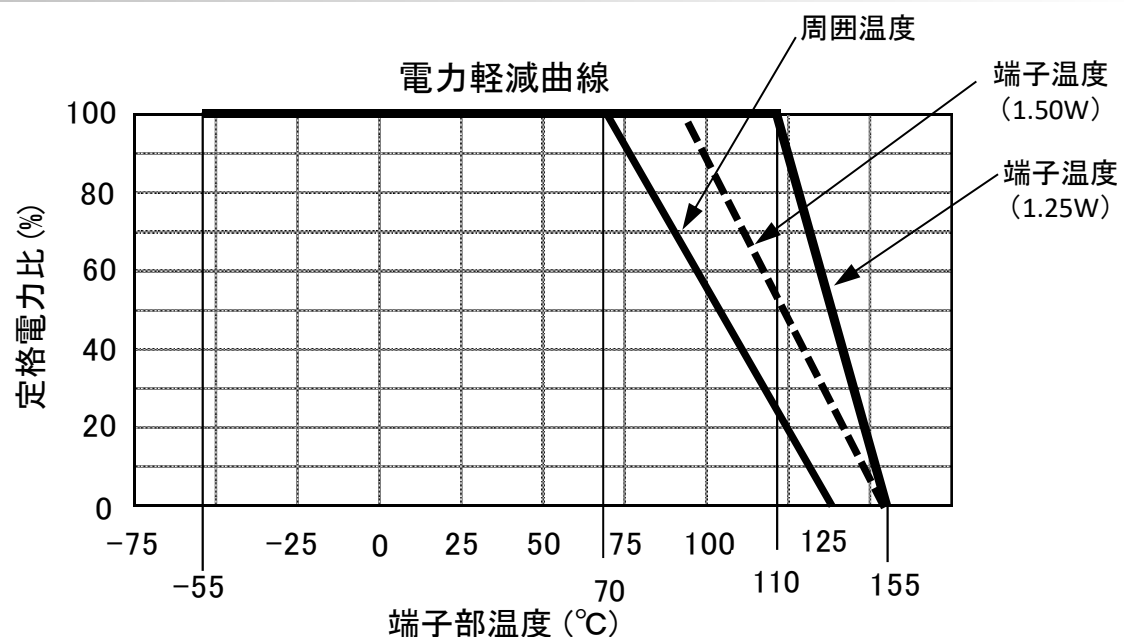
※設計・仕様について予告せず変更する場合がございますので、ご購入及びご使用前にご確認お願い致します。

電力軽減曲線

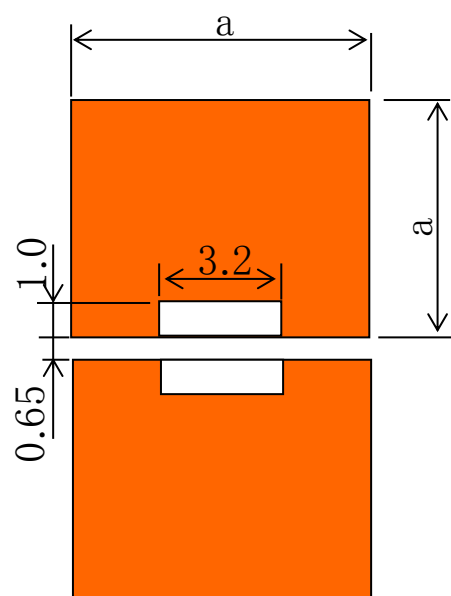
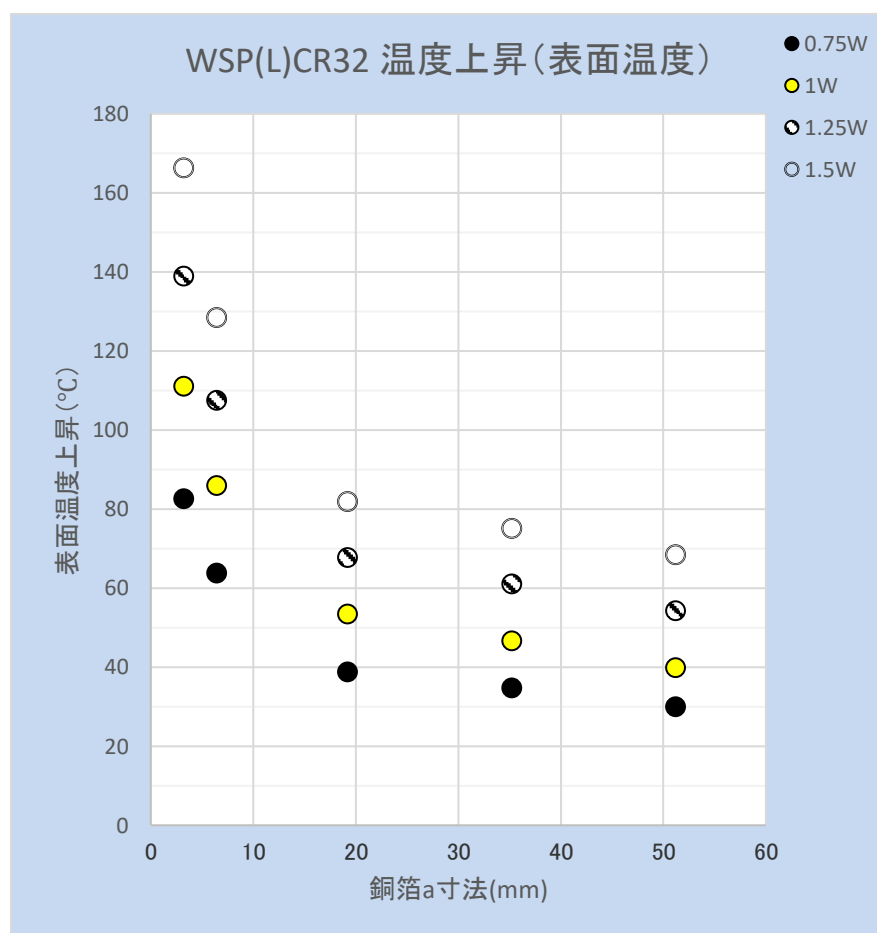
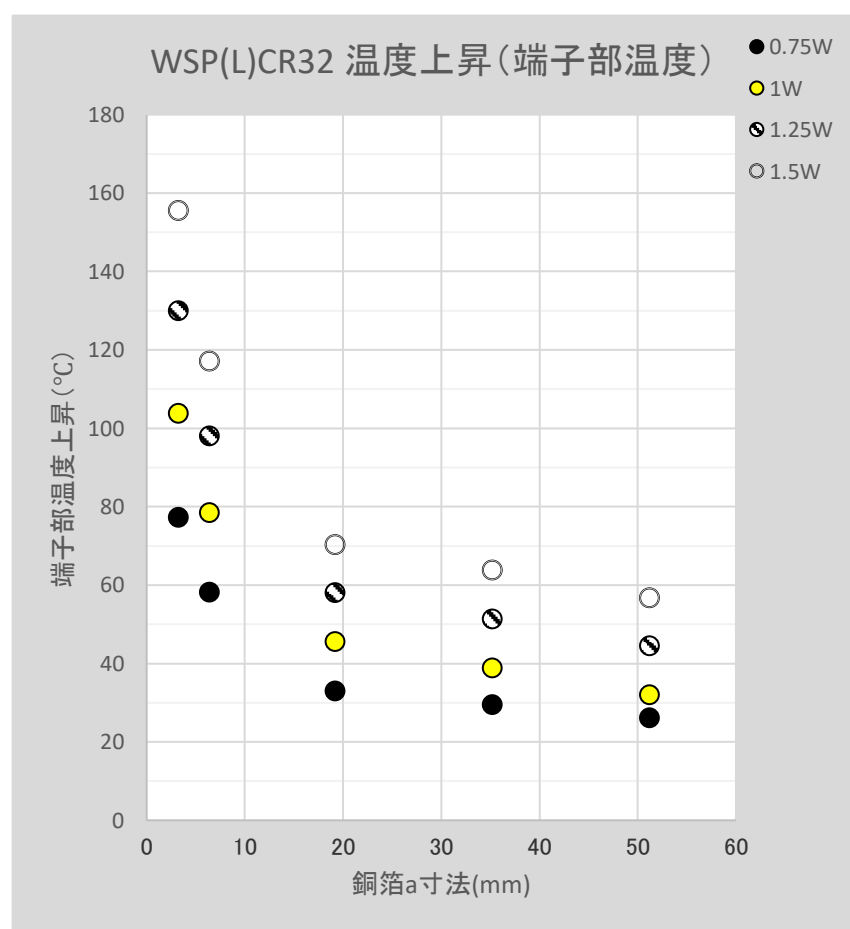
1.25W定格で使用される際に、端子部の温度が110℃を超える場合は、右図の電力軽減曲線の実線部に沿って、定格電力の軽減を行ってください。

1.50W定格で使用される際に、端子部の温度が95℃を超える場合は、右図の電力軽減曲線の点線部に沿って、定格電力の軽減を行ってください。また、端子部の温度が155℃を超えないようにしてください。

周囲温度の表面温度が70℃を超える場合は、右図の電力軽減曲線によって定格電力の軽減を行ってください。また、表面部の温度が125℃を超えないようにしてください。



表面温度上昇



銅箔寸法

測定条件
基板: 110mm × 60mm, t=1.6mm